

## 第3章 次年度の各活動の促進(推進)に関する課題

### 1) 今年度制作コンテンツの有効活用と検証

#### ①普及啓発本(マンガ本)および普及啓発動画(ビデオパッケージ)

今年度制作した普及啓発本(マンガ本)や普及啓発動画(ビデオパッケージ)については、小中学校や主要公共施設、関係機関など、普及啓発効果が得られるような適正な配布先を検討するとともに、その効果の検証等が求められる。

#### ②紙芝居

今年度制作し計3回の公演を行った紙芝居については、ストーリーのシリーズ化とともに、さらなる公演を重ね、その効果についての検証が求められる。

#### ③演劇(お笑い普天間劇場)

今年度は2回の公演を行い、248名の参加があったお笑い普天間劇場については、一度で大多数の市民などを対象に展開が可能なコンテンツであり、今年度実績を踏まえ、公演内容の改善と付加価値を高め、普及啓発のコンテンツとして内容充実化を図るとともに、公演を重ね、その効果の検証が求められる。

### 2) 市民向けの意向醸成について

#### ○今年度作成の各コンテンツの有効活用による啓発活動

今年度制作を行った普及啓発本やビデオパッケージについて、ホームページ掲載や小中学校における読み聞かせ、公共施設での放映等を行い、幅広い世代の市民に対して、まちづくりや跡地利用に関する意向醸成を促進することが求められる。

### 3) 若手の会活動促進及び地権者向けの意向醸成について

#### ①若手の会における幅広い年齢層の参加の促進

今年度、若手の会に新メンバーの加入などがあったが、今後も、情報発信活動を展開し、新たな参加を促進することが求められる。

また、新規参加者は、これまで長期にわたり活動を行ってきた既存参加者と、跡地やまちづくりに関する情報や理解度の差があることから、新規参加者への教育や普及啓発なども求められる。

#### ②議論の活性化に向けた新たな手法検討

月1回開催される定例会の会議手法の中に、ワークショップや研修会など議論をより活性化させるような手法の導入検討が望まれる。

#### ③出前意見交換会など、情報発信や意向把握等の継続的取組

今年度若手の会が自主的に実施した出前意見交換会などを引き続き実施するとともに、今年度県市共同事業で制作した「中間取りまとめ」に関するプロモーションビデオやパンフレットを活用し、普及啓発や意向把握などの継続的取組が求められる。

## 4) NBミーティングの活動促進について

### ①NBミーティングの行動プログラム検討

市民有志によるNBミーティングとしての役割や、中期的ビジョン、具体の行動計画などを含めた、活動プログラムについての検討が求められる。

### ②がちゆんなど、関連団体との連携による活動活性化の継続的取組

今年度学生サークルであるがちゆんとの合同会議において、議論の活性化が図られたことから、がちゆんや、その他大学研究室、関連する団体との連携による活動の活性化などの検討が求められる。

## 5) 若手の会・NBミーティング共通課題について

### ①先進地視察など情報収集の継続的实施

跡地利用に関する情報収集については、これまで取り組みを行ってきたが、さらなる情報収集や事例研究が望まれる。特に、普天間飛行場跡地においては、大規模公園や緑のネットワーク形成が主要課題となることから、これらのテーマに関連した情報収集や事例視察の検討が求められる。

### ②合同勉強会など、若手の会とNBミーティングの交流促進

地権者で構成される若手の会と、市民目線での議論を重ねるNBミーティングについては、普天間飛行場跡地利用に関する合意形成の中核的組織であり、両団体の合同勉強会や交流会などにより、合意形成促進に向けた相乗的な効果を発揮することが求められる。

### ③跡地利用やまちづくりに対するさらなる議論の深化

若手の会、NBミーティングともに、普天間飛行場跡地利用について、情報収集や専門知識の習得を行いつつ、跡地利用やまちづくりに対する議論を深めることが求められる。

また、将来的な目標として、「中間取りまとめ」に対する提言を行うなど、跡地利用を担う中核的組織としての充実や強化が求められる。